



宿題たしかめ表

4月15日～4月21日

サイン		今 週 の 宿 題	提出
	1	音読 教科書 P18～P33 このページ⇒	○
	2	漢字学習ノート P5～P8 (情・像・象・解・四年生で習った漢字(I)・技・術・複)	○
	3	ワークシート 「なまえつけてよ①・②, ③・④」	○
	4	言葉の意味調べ「図書館を使いこなそう」(A:意味調べ, B:文作り)	○
	5	言葉と文「仲間の言葉②」	○
	6	言葉をよりすぐって俳句を作ろう① (春の俳句)	○
	7	都道府県を調べよう②「青森」	○
	A	NHK for school 「見えるぞ! ニッポン! 青森県～リンゴ～」を観る	
	7	都道府県ドリル②「青森県」	○
	B	NHK for school 「すずしい気候をいかした果物作り～青森のりんご～」を観る	
	8	日々のことを記録しよう (200字程度) タイプして提出	○
	9	漢字のおさらい「一年生 ステージ2」	○
	10	漢字テスト②の練習 (←漢字を書くテスト②)	○
	11	漢字読みテスト②の練習 (←来週の漢字を読むテスト②)	
	12	漢字テスト①	○
	13	4月の歌「春の小川」を歌う (日本語教室のウェブサイトで練習)	

宿題の提出は21日まで



音読カード

きのうより上手に読めたかな

よくできた◎ できた○ もうすこし△

読んだところ (なまえつけてよ・図書館を使いこなそう)							
読 む め あ て	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
お う ち の 人 の サ イ ン							

なまえつけてよ ①

● 次の文章を読んで、答えましょう。

一年生のときから、毎日、その小さな牧場のわきを通って通学しているの、牧場のおばさんとは、いつのまにか顔見知りになっていた。でも、あいさつをするだけだ。

「じゃあ、⑦考えてきます。あしたまでに。」

「たのおね。」

おばさんと子馬に手をふると、春花は歩きだした。歩きなれた通学路だ。けれど、まるで知らない道を歩いているような気がしてくる。

名前をつけてと任されるなんて、初めてのことだ。これまでに自分で名前をつけたことがある生き物を思い出す。お祭りのときにすくった、おとなしい金魚。それだけだ。

どんな名前がいいかな。

春花は、頭の中に子馬のまぶしいすがたを思いえがきながら、帰り道を歩いた。



(1) ⑦にあてはまる言葉を一つ選んで○をつけましょう。

() () それから

() () それなのに

() () だから

(2) ④——とありますが、春花は何を考えていると言っていますか。

(3) ウ——とありますが、春花がそのような気がしてきたのは、なぜですか。一つに○をつけましょう。

() () 牧場のおばさんと話をしていたときのきんちようがとけたから。

() () 初めて名前をつけることを任され、そのことばかり考えているから。

() () 子馬を初めて見てこうふんしたから。

なまえつけてよ ②

● 次の文章を読んで、答えましょう。

そのときだ。道の角から、ふらりと勇太が現れた。弟の陸を連れている。

勇太は、ひと月前に、遠くの町から引っこしてきた。

「今度、同じ組になるの。仲よくしてやってね。」

春花の家へあいさつに来たとき、勇太のお母さんはそう言った。

春花は、はい、と答えただけれど、実際には、⑦どうしたらいいか、分からなかった。話しかけても、勇太はあまりしゃべらない。でも、陸とは楽しそうに遊んでいる。親しくなるきっかけは、なかなかつかめなかった。



(1) 道の角から現れたのは、だれですか。二人の名前を書きましょう。

[] [] [] []

(2) 勇太は、どのような少年ですか。あてはまるもの二つに○をつけましょう。

() () ひと月前に春花と友達になった。

() () ひと月前に遠くの町から引っこしてきた。

() () 弟の陸とあまり仲よしではない。

() () 春花と同じ組になった。

(3) ⑦——とありますが、春花がどうしたらいいか分からなかったのは、なぜですか。

勇太は、[] かけても、あまり

[] ので、親しく

なる [] がなかなか

つかめなかったから。

なまえつけてよ ③

● 次の文章を読んで、答えましょう。

- ㊦ 「牧場に子馬がいるんだけど、気がついた。」
春花はきいてみた。勇太は目を合わせない。ただ、足元を見ている。
「あそこの牧場で子馬が生まれたんだよ。あたし、子馬の名前を考えてって、牧場のおばさんから、たのまれちゃった。」
い
「わあ、すごいね。なんてつけるの。」
目をかがやかせたのは、陸のほうだ。
勇太は顔を上げて、ちらっと春花の方を見た。でも、すぐに目をそらした。



- (1) ㊦、いは、それぞれだれの言葉ですか。名前を書きましょう。

㊦ [] い []

- (2) ㊦の言葉の後の勇太は、どのような様子でしたか。

春花に目を [] ず、ただ、

[] を見ている。

- (3) ㊦——とありますが、この春花の言葉を聞いて、陸と勇太はどのような態度をとりましたか。

陸 目を [] た。

勇太 顔を [] て、 [] と

春花の方を [] が、すぐに

目を [] た。

● 次の文章を読んで、答えましょう。

なまえつけてよ ④

- (春花は、子馬の名前をつけてとたのまれたことを勇太たちに話すと、なんてつけるかはずねられた。)
- ㊦ 「まだ言わないよ。明日の放課後、牧場のところに来て。そうしたら教えるから。」
い 「今、教えてよ。今、知りたい。」
陸が早口で言った。陸は、二年生だ。
う 「もう行こう。」
勇太はぶいっと向きを変えて、歩きました。陸は二、三度、春花の方をふり返りながら、勇太についていった。
⑦ 「なによ、その態度。」と言いそうになったけれど、春花は言葉をぐっと飲みこんだ。



- (1) ㊦㊦は、それぞれだれの言葉ですか。名前を書きましょう。

㊦ [] い []

う []

- (2) 春花は、いつ、どこに来たら、何をすると勇太たちに約束しましたか。

いつ []

どこに [] に来たら

何をする []

- (3) ㊦——とは、だれのどのような態度のことですか。一つに○をつけましょう。

() 陸が早口で春花に文句を言ったこと。

() 勇太が春花の言葉に返事もせずに、ぶいっと向きを変えて歩き出したこと。

() 陸が勇太についていったこと。

言葉の意味を調べよう

「図書館を使いこなそう」

3 3	3 3	3 3	3 3	3 3	3 3	3 2	3 2	3 2	3 2	頁 行
6	4							4	1	
検 索 <small>けんさく</small>	司 書 <small>ししよ</small>	複 数 <small>ふすう</small>	生 息 <small>せいしつ</small>	野 生 <small>やせい</small>	馬 術 <small>ばじゆつ</small>	物 理 学 <small>ぶつりがく</small>	技 術 <small>ぎじゆつ</small>	手 が かり	日 本 十 進 分 類 法 <small>にっぽんししゆぶんれいほう</small>	言 葉
			生物がすんで生活していること。			物の運動や性質・はたらき、物質の構造などを調べる学問。 <small>ぶつしつこうぞう</small>			日本で考案された図書資料の分類方法。全ての図書資料を十の種類に分け、それぞれをさらに細かく十ずつに分けている。	意 味

言葉と文 仲間の言葉 ②

関係のある言葉②

1回(2ページ)のほかにも、仲間の言葉があります。



おほえよう
心・気持ちに
関係のある
言葉
工業に
関係のある
言葉
社会・政治に
関係のある
言葉

悲しい・苦しい・泣く・幸せ・笑う
喜び・感動・愛・勇気・反省・残念
積極的・消極的・無関心・熱心・自信
工場・労働・生産・原料・加工・機械
市民・市長・知事・選挙・投票・公約
大臣・長官・国会議事堂・法りつ
平和・戦争・兵器・兵隊・軍隊

① 一から、仲間でない言葉を一つずつ選んで、〇で囲みましょう。

(1) 生徒 登校
北風 名札
(2) 工場 元気
機械 生産
(3) 市民 市長
知事 古本
(4) 汽車 幸せ
愛 勇気
(5) 体育 国語
勉強 平和

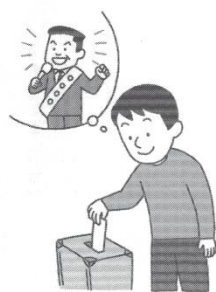
②

□と同じ仲間の言葉を、□から選んで書きましょう。

(一ページ)

(1) 楽しい・泣く
喜ぶ
(2) 勉強・登校
卒業式
(3) 加工・生産
機械
(4) 投票・選挙
公約

市長・悲しい
体育・工場



③ 次の□に関係のある言葉を下から選んで、——で結びましょう。

(1) 学校
・ ア 知事・市民・市長
(2) 社会・政治
・ イ 生産・機械・工場
(3) 心・気持ち
・ ウ 愛・勇気・熱心
(4) 工業
・ エ 卒業式・入学式

(4) (一)に合う言葉を、□から選んで書きましょう。

(1) 遠足に行けなくて
だ。
(2) 自分のあやまちを
する。
(3) 詩を読んで、とても
した。

残念・感動・勇気・反省

言葉をよりすぐって俳句を作ろう

①

◎ 生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えよう。

俳句を読もう

ゆさゆさと 大枝ゆるる 桜かな

作者 村上 鬼城

季語 桜

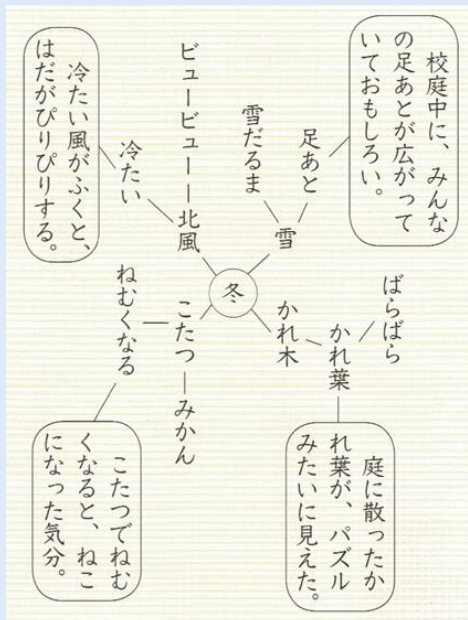
大きな桜の木が満開の美しい花を枝いっぱいにつけている。
風をうけて大きな枝がゆさゆさとゆれている。



題材を集めて、五・七・五で表そう

季節を表す言葉から連想して、生活の中から見直したり季節の移り変わりを感じたりしたことを思い出し、俳句の仔仔を集めましょう。見たこと、聞いたこと、さわった感じやにおいなどを手がかりにして、メモを使って思い出しましょう。

「連想メモ」の例



春の季語を探して
春の俳句を作りま
しょう。



季語

右の俳句の季語は何ですか



1 年 生

37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
おんな の子	外 に る	誕生日 は 後だ	紙 を 出 す	くるま の おもちゃ	いろ の に じ	みみ た い を つ ま む	数 を し る	毛 の 手 袋	つ 角 で 止 ま る

47	46	45	44	43	42	41	40	39	38
こ い し を け る	焼 け 雲	あ お い 魚	あ か 明 る く き る	た だ し い 答 え	み ず た ま り	ひ と で が 足 り な い	の 奥	も り ば き を は く	う わ が 流 れ て い る

57	56	55	54	53	52	51	50	49	48
お と こ の 子	こ え を 出 す	お お た ち	む ら び と ぶ み を す る	あ し む し り を す る	く さ 起 き す る	は や 庭 で 遊 ぶ	か わ の 流 れ	ち 代 紙 を 折 る	あ か い 花

漢字テスト②の練習

来週の漢字を書くテスト②に出る漢字です。漢字の読み方を書き、三回練習しましょう。



① 印象

② 理解

③ 分類

④ 技術

⑤ 体験

⑥ 複数

⑦ 道の角
みち

⑧ 現れる

⑨ 感情

⑩ 想像

印象

理解

分類

技術

体験

複数

角

現れる

感情

想像

漢字を読む②

①から⑩まで声に出して読みましょう。

土	日	月	火	水	木	金
---	---	---	---	---	---	---

↑読んだら○をつけましょう。

① 仕事を任す。

① しごとをまかす。

② 落ち葉を集める。

② おちばをあつめる。

③ 牛を飼育する。

③ うしをいくする。

④ 不格好な折り紙。

④ ぶかっこうなおりがみ。

⑤ 温かい子馬の鼻。

⑤ あたたかいこうまのはな。

⑥ 落ち着いた態度。

⑥ おちついたたいど。

⑦ 人間関係を知る。

⑦ にんげんかんけいをしる。

⑧ 自分自身の考え。

⑧ じぶんじしんのかんがえ。

⑨ 実際にあった出来事。

⑨ じっさいにあったできごと。

⑩ 登場人物の名前。

⑩ どうじょうじんぶつのなまえ。

☆来週の漢字読みテストの問題です。音読をするページに出てくる漢字です。
一日一回は、声に出して読みましょう。



漢字テスト ①

読むテスト

○線の漢字の読みがなを書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
子馬と遊ぶ <u>願</u> い。	向きを変えて歩 <u>き</u> 出す。	塩味 <u>が</u> 足りない <u>と</u> 感 <u>じ</u> る。	安 <u>心</u> してね <u>む</u> りに落 <u>ち</u> る。	相 <u>手</u> や場 <u>面</u> に <u>応</u> じて話 <u>す</u> 。	方 <u>言</u> と共 <u>通</u> 語 <u>。</u>	地 <u>方</u> 特 <u>有</u> の表 <u>現</u> 。	印 <u>象</u> に <u>残</u> る言 <u>葉</u> 。	感 <u>動</u> を伝 <u>え</u> る工 <u>夫</u> 。	季 <u>節</u> 感 <u>を</u> 表 <u>す</u> 季 <u>語</u> 。

書くテスト

○太い字を漢字で書きましょう。(送りがないも書きましょう)

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
か <u>っ</u> こ <u>う</u>	父 <u>に</u> に <u>る</u>	子 <u>犬</u> を <u>か</u> う	た <u>い</u> ど	ほ <u>う</u> か <u>ご</u>	じ <u>っ</u> さ <u>い</u>	ま <u>か</u> す	ぼ <u>く</u> じ <u>ょう</u>	ひ <u>ょう</u> げ <u>ん</u>	つ <u>う</u> が <u>く</u> ろ

授業用ワーク 方言と共通語

1 次の①～③の線の方言は、それぞれ同じ意味を表します。どのような意味ですか。 から選んで記号を書きましよう。

① わりいっけねえ。(静岡) きのどくな。(富山)
 ありがどがんです。(岩手)

② 今日はぼっけえさみのう。(岡山)
 今度来た先生はわっぜきびしが。(鹿児島)
 ごっついきれいな花やなあ。(徳島)

③ だちかんがね、お茶をこぼしちやあ。(愛知)
 おぐれで来ればわがねよ。(青森)
 そんなことしたらあかん。(大阪)

ア とても イ ありがとう ウ だめ

2 次の文は、ア方言、イ共通語のどちらを説明したものですか。それぞれ記号を書きましよう。

① 全国のどの地方の人にも通じ、改まった場面などで使われる言葉。

② ある地域だけで通用し、独特の表現を多くふくむ言葉。

③ 全国向けのニュース番組で使われる言葉。

④ 昔からそれぞれの地方で使われ続けていて、そこです人々の生活に深く結び付いている言葉。



3 次の文は、後ののどれについて述べたものですか。記号を書きましよう。

① その地方にくらしている人たちの気持ちや感覚を、ぴったりと言い表すことができる。

② その地方にくらしていない人に対しては、言いたいことが正しく伝わらないことがある。

③ 親しい人どうしで使うと、かえってよそよそしい感じがすることがある。

④ ちがう地方の人と話をするときでも、たがいに相手の話をきちんと理解することができる。

ア 方言の長所。 イ 共通語の長所。
 ウ 方言の短所。 エ 共通語の短所。

4 方言よりも共通語を使ったほうがよいのは、どんなときですか。次から三つ選んで、記号を書きましよう。

ア 友達に自分の気持ちを伝えようとするとき。
 イ ニュース番組でニュースを伝えるとき。
 ウ おさななじみと久しぶりに会ったとき。
 エ 夕食の後、家族のみんなと話するとき。
 オ 全国から集まった人の前で話すとき。
 カ 改まった場で、初対面の人とあいさつをかわすとき。



いろいろな地方の人や初対面の人に話するときには共通語を使うほうがいいね。

クイズ

青森県の方言「しばれる」の意味は？

- ① きびしく冷える ② 物をしばる ③ しばをかる

授業用ワーク なまえつけてよ ①

● 「春花」と「勇太」は、どのように書かれているだろう。それぞれの日ごとに、会話や行動をぬき出し、そのときの心情を想像して、短い言葉でまとめよう。

2 日目		1 日目	
春花の会話や行動		心 情	
<ul style="list-style-type: none"> ・まるで知らない道を歩いているような気がしてくる。 ・「あたし、子馬の名前を考えてって、牧場のおばさんから、たのまれちゃった。」 ・「明日の放課後、牧場のところに来て。そうしたら教えるから。」 ・「なによその態度。」 ・もしかして、勇太は来ないかもしれないな。 ・だまったまま、さくらつき出た子馬の鼻にさわってみた。 ・「いいんです。それならしかたないですね。」 		<ul style="list-style-type: none"> ・子馬の名前をつけてほしいと任され、うきうきしている。 	
勇太の会話や行動		心 情	
<ul style="list-style-type: none"> ・「名前、なんてつけるんだ。」 ・何も言わない。 ・こまったような顔をして、春花の方をじっと見ていた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ただ、足元を見ている。 ・ちらっと春花の方を見た。でも、すぐに目をそらした。 ・「もう行こう。」 ・ぷいっと向きを変えて、歩きだした。 	